

第 2 回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【 1 】開催

日 時 平成 19 年 8 月 25 日（土） 午前 10 時～午後 12 時 15 分
場 所 稲毛区役所 3 階 講堂
出席者 委員 23 人（29 人中）、ガイドヘルパー 1 人、手話通訳者 2 人、
事務局 8 人（福祉サービス課 5 人、千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所
3 人）、保健福祉総務課 2 人

【 2 】次第

- 1 開会
- 2 福祉事務所長挨拶
- 3 議題（ 1 ）区地域福祉計画の 35 の具体的な取り組み状況について
（ 2 ）区地域福祉計画の広報・PR について
（ 3 ）その他

議題に入る前に委員長および副委員長より、19 年度の「区地域福祉計画推進協議会」のすすめ方について説明があった。

今年度の推進協議会では、「地域福祉計画の具体的な取り組み状況の把握」を中心に意見交換していきたいと考えている。計画書に挙げられている 35 の具体的な取り組みの中で、推進していきたい取り組み、すでに皆様の団体等で取り組みを始めているような取り組みがありましたら発表していただきたい。

また、区地域福祉計画のより効果的な広報・PR についても意見交換していきたい。

【 3 】議題

（ 1 ）区地域福祉計画の 35 の具体的な取り組み状況について

原田委員長の進行により区地域福祉計画の 35 の具体的な取り組みについて意見交換が行われた。

（委員長）稲毛区地域福祉計画の 35 の具体的な取り組みで長期的に取り組むべきもの、既に取り組んでいるもの等、様々であるが、時間をかけて行うものは時間をかけて進めていきたいと考えている。

（委員）35 の具体的な取り組みにある、権利擁護・成年後見制度の推進についてだが、千葉市社会福祉協議会は地域福祉権利擁護事業に加え、18 年度から法人による成年後見制度を実施している。

35 の具体的な取り組み（基本方針 1～5）の、どこから手を付けていくか、また、どのように進めていくかは、委員長しだいだと思う。現在実施しているものも検討するのか、1 つ 1 つ順に解決していくのか、委員長の考えでうまく

時間を使ってほしい。

(委 員) 35 の具体的な取り組みはどこに書いてあるのか。

(委員長) 稲毛区地域福祉計画の 5 つの基本方針の中にある 13 の施策の方向性の中にある 35 の具体的な取り組みに当たる。

35 の具体的な取り組みの状況 1 つ 1 つ全てを話し合っていくのではなく、取り組みやすい事項から進めていきたいと考えている。今日の皆さんの意見を聴いて、次回以降どのように進めていくかを検討していきたい。

(委 員) ○○委員より 35 の具体的な取り組みのうち 1 つが解決したとのことだが、昨年度より実施されているパイロット事業は、区地域福祉計画の 35 の具体的な取り組みに沿って実施しているので、パイロット事業を行ったところがどここの項目に合致しているか確認をしていけばおのずと手を付けていない項目が見つかるのではないかと。

(委員長) 昨年度 10 のパイロット事業が実施されたが、これらは区地域福祉計画の 35 の具体的な取り組みのどこかに合致している事業である。

(委 員) 本日配布されたパイロット事業活動報告書を参考にし、どこの基本方針に合致しているのかが記載されているので簡単に発表をしていただき、まだ手を付けていない項目を探していけばよいのではないかと。

(委員長) 昨年度実施されたパイロット事業の関係者の方に、1 人ずつ簡単に報告をしていただきたい。

昨年度実施したパイロット事業について関係者から以下のように説明があった。その後、質疑応答が行われた。

【千草台中学校地区防災マップ作成事業】・・・千草台中学校地区部会

不測の事態に備え、地域の避難場所、広域避難場所、災害医療施設、各町内自治会の場所等を地図上に入れ、また、我が家の防災メモが記入できる等の防災マップをカラーで作成し、町内自治会を通して全戸へ配布した。

【地域助け合い男性ボランティアグループ養成事業】・・・緑が丘地区部会

緑が丘地区部会では、地域住民が地域住民のために活動するボランティアグループ養成講座を全 4 回実施した。講座終了時、アンケート調査を実施した結果、15 名ほどの方が賛同してくれ、今年度より活動に向けて話し合いを進めている。今後は、このようなボランティアグループを各町内自治会で立ち上げていければよいと思っている。

【地域（小中台）の子育てミニフォーラムの設置事業】・・・小中台地区部会

子育て支援活動をしている様々な団体、サークル、個人や子育て家庭を含む地域の人達が集い、また情報交換等を通して地域の子育て支援に関する理解を広げ活動の連携を図ることを目的に「子育てミニフォーラムの設置」を実施した。今年度も、イベントの開催を予定している。

【高齢者の健康増進及び青少年育成事業】…轟・穴川地区部会

地域住民の健康維持と管理に関心を促すため65歳以上の人を対象に骨密度調査及び栄養チェックと食事指導を実施した。また、子どもの心を理解し地域の青少年の健全育成に寄与させることを目的とした講演会を実施した。

骨密度調査については、100人を超える方々が集まり、自分の健康管理について再確認していた。また、青少年健全育成に係る講演会については、子育て中の親が真剣な眼差しで小野寺講師の話しに聞き入っていた。

【パイロット広場「みんなで作るこころの灯」事業】…稲毛地区部会

地域福祉は、地域に住む人達がお互いを知り100人の仲間作りをすることから始まる。心からホッとできる場、交流の場を作ることにより、心の灯りを燈そうということでこの事業を実施した。

【子育てサポートガイド事業～世代間交流事業～】…稲毛地区部会

地域の子育て情報を掲載したマップや子育て体験記（各世代）を作成し、子育て中のパパ・ママの交流の場を充実させ、母親1人で抱え込みがちな子育てを地域全体でサポートすることを目的とし実施した。

【安心カードの作成と活用及び健康講座事業】…山王地区部会

高齢者を対象とし、緊急時における本人確認カードを作成し、氏名、住所、緊急時の連絡先、かかりつけの病院等必要最低限の情報をカードに記入しておくことにより、緊急時に即対応できるような安心カードの作成を実施した。また、併せて高齢者に生き生きと暮らしていただけるよう健康講座も実施した。

（委員長）それでは、パイロット事業についてご質問があればお願いします。

（委員）もっと詳しくパイロット事業の内容（経費・作業内容等）が知りたい。よい事業は稲毛区全体で取り組んでいけるようにしていただきたい。

（委員）35の具体的な取り組みの何処に当てはまるかということで、パイロット事業の説明をしているのではないか。先程、冒頭で委員長がそのように説明していた。

（委員長）それでは、再度、区地域福祉計画による基本方針及び35の具体的な取り組みの何処に合致しているか、説明していただく。その後、質問があればその都度お願いしたい。

稲毛区地域福祉計画35の具体的な取り組みに合致している項目について関係者から以下のように説明があった。その後、質疑応答が行われた。

【千草台中学校地区防災マップ作成事業】…千草台中学校地区部会

基本方針3-(1)- …地域の情報の収集と発信

基本方針5-(2)- …避難訓練の実施及び避難場所の体制づくり

基本方針5-(3)- …防犯マップ作成と取り組み

(委 員) マップ作成はどの地区にも必要なことである。今後他の地域の参考までにどのくらいの経費がかかったのか知りたい。

(委 員) 総額では、15～16 万かった。10 万円以上は、千草台中学校地区部会の予算で補った。

【地域助け合い男性ボランティアグループ養成事業】…緑が丘地区部会

基本方針 2 - (2) - …公民館・コミュニティセンターの活用

基本方針 4 - (1) - …地域で活動している人・組織との連携・協力

基本方針 4 - (2) - …コーディネート組織の設置

基本方針 4 - (2) - …暮らしの助っ人隊の結成

(委 員) ボランティアグループを作り、これを長く継続して続けるには運営費がかなりかかってしまう。四街道にある NPO 法人「ふきのとう」のように小額な利用料(時間 300 円～500 円)を受け取っているところもある。このような団体の運営方法を参考に長く継続して活動していただけたらと思う。

【地域(小中台)の子育てミニフォーラムの設置事業】…小中台地区部会

基本方針 1 - (2) - …地域の情報交換の推進

基本方針 2 - (1) - …公民館を利用した子ども活動の充実

基本方針 3 - (1) - …地域の情報の収集と発信

基本方針 3 - (1) - …ぷらっと寄ることができる場での情報提供

基本方針 4 - (1) - …地域で活動している人・組織との連携・協力

(委 員) 今の若い世代の夫婦の方々は、家族一緒に参加するということではなかったのか。

(委 員) 今回の事業は、家族で楽しむという企画はあまり組み込まれていなかった。子どもが楽しめる場、お母さんが参考になればという企画で行った。今後の参考にさせていただく。

【高齢者の健康増進及び青少年育成事業】…轟・穴川地区部会

基本方針 2 - (2) - …公民館・コミュニティセンターの活用

基本方針 3 - (2) - …啓発の充実

基本方針 4 - (1) - …地域で活動している人・組織との連携・協力

基本方針 4 - (1) - …1 人暮らし高齢者などの引きこもり防止対策

(委 員) 今回の講演会は講師謝礼を支払っていると思うが、出席者が比較的少ないように感じる。他の団体と共同事業にするとか、周知方法を工夫するなりしてより多くの方々に聴いていただいたほうがよい。

(委 員) 若い世代の親が出てこないという問題は、他地区でも同じような悩みがある

と思う。この問題をうまく解決しているような地区があればお聞きしたい。

【安心カードの作成と活用及び健康講座事業】…山王地区部会

基本方針 2 - (2) - …自治会館の活用

基本方針 4 - (1) - …1人暮らし高齢者などの引きこもり防止対策

基本方針 5 - (1) - …安心カードの作成と活用

(委員) 私の地区でも安心カードを作成し、1人暮らし高齢者、2人暮らし高齢者に配布し、玄関等の目に付きやすい場所に掲示していただいている。

(委員) 行政で発行しているシルバーカードというのがあった。現在は、廃止になったと思うが。

(委員) どのように使用するのか。

(委員) 2枚に切り離せるカードを配布し、1枚は家庭内の見つけやすい場所へ掲示してもらおう。もう1枚は、外出する際に携帯していただく。

(委員) このカードは、どこが管理及び把握しているのか。

(委員) 社会福祉協議会地区部会が主となり管理し、民生委員が協力している。

(委員) 10年前に私の地区でも同じような安心カードを作成したが、全く意味がなかった。もし、独居の方が倒れていた場合、家の鍵が閉まっており、このカードが家の中に貼ってあっても見ることができない。元気なうちに、封筒の中に緊急連絡先、かかりつけの医者等を記入した用紙を入れていただき密封し、民生委員や自治会役員が預かっておき、緊急時に開封するということで助けられた例があった。

(委員) 貴重な意見として参考にさせていただく。

(委員) 私は60歳になった時に千葉市から身分証明書を配布された。これは、今でも配布されているのか。

安心カードは、本来は千葉市が把握し管理するものではないのか。

(事務局) 今年から60歳になった方全員に発行しているわけではない。写真が入っているので身分証として使用している方もいると思うが、正式な身分証ではない。千葉市としても民生委員・児童委員を通じて独居老人・高齢者世帯を把握している。

(委員) このような安心カードは、個々(各地域)で作るのではなく千葉市が総括して作成し配るべきではないのか。

(事務局) 千葉市で配布していたシルバーカードは、すべて発行を止めてしまったわけではなく、希望者のみに配布するようになった。

【パイロット広場「みんなで作るこころの灯」事業】…稲毛地区部会

基本方針 2 - (2) - …公民館・コミュニティセンターの活用

基本方針 4 - (1) - …1人暮らし高齢者などの引きこもり防止対策

基本方針 4 - (2) - …大学や学生も参加するまちづくり

基本方針 5 - (3) - …商店街・企業等と連携した取り組み

(委 員) 助け合いマップの対象者は高齢者の方だけではなく、障害者の方や乳幼児を抱えている親も載せて欲しい場合は掲載していただけるのか。

(委 員) 掲載することは可能である。

【子育てサポートガイド事業～世代間交流事業～】・・・稲毛地区部会

基本方針 2 - (1) - …ごはんと一緒に食べる機会づくり

基本方針 2 - (1) - …公民館を利用した子どもの活動の充実

基本方針 3 - (1) - …地域の情報の収集と発信

基本方針 4 - (1) - …地域で活動している人・組織との連携・協力

・特に質問なし

(2) 区地域福祉計画の広報・PR について

委員長が区地域福祉計画の広報・PR についての考えを述べた。

地域福祉計画に関する広報・PR ということではなく、地域福祉計画の取り組み事項に関する広報・PR を考えている。

(3) その他

地域福祉活動事例集について

編集委員から地域福祉活動事例集について、以下のとおり説明した。

8 月 23 日に千葉市役所において 8 名の編集委員が集まり、地域福祉活動事例集の掲載事例候補について話し合いが行われた。千葉市で地域福祉パイロット事業等 25 の事例が推薦され、各区 2 事例ずつの 12 事例を選定することとなった。

稲毛区においては、よい事例が 4 つ推薦されている。

保健福祉総務課が今後のスケジュールについて、以下のとおり説明した。

今後、9 月・10 月に事例候補として挙がっている活動場所へ編集委員と同行し、内容を検証したうえで 12 月に第 2 回編集委員会を設けたいと考えている。

地域福祉パイロット事業について

事務局から地域福祉パイロット事業について、以下のとおり説明した。

5 月 1 日～5 月 31 日までに募集した稲毛区内の 3 件の地域福祉パイロット事業は、6 月 29 日に審査会が開かれ、3 件とも決定した。

本年度の地域福祉パイロット事業は 25 地区部会から 250 万円の申請があった。総事業費は 300 万円なので 50 万円の残額が生じている。今回は、補助金申請の 2 次募集を行わないとしていた。この 50 万円をどうするかについては、市と協議する必要があった。市との協議の結果、市から地区部会と NPO 団体との協働で行なう事業を推進するため、地

区部会と NPO 団体の連携事業であれば募集をして欲しいとのことであった。このため、募集期間は 10 月中旬までとし、別途、各地区部会、市民活動センターにチラシ等で周知を図る予定である。

（委員長）今回はパイロット事業という名称ではなくなるのか。

（事務局）名称に変更はなく、地域福祉パイロット事業である。

（委員長）条件は変わりますか。

（事務局）今回の募集は、地区部会と NPO 団体の連携・協働した事業に限定する。

（委員長）チラシはどこに配られるのか。

（事務局）千葉市社会福祉協議会本部、千葉市社会福祉協議会各区事務所、各区役所福祉サービス課、市民活動センターへ配架し、各地区部会長へ郵送する。

推進協だよりの編集委員について

委員長が推進協だよりの編集委員について、以下のとおり説明した。

今までは、事務局任せで推進協だよりを発行していたが、今後は、事務局、委員長、副委員長、推進協だより編集委員で話し合いを設け発行していきたいと考えている。どなたか編集委員をやっていただける方はいないだろうか。

（委員）地域福祉活動事例集の編集委員が 2 名いるので、それを含めてもう何人かでどうだろうか。

（委員長）地域福祉活動事例集のとは別のものになるので、できれば他の方をお願いしたいと思う。

（委員）繋がりを持つためにも地域福祉活動事例集の編集委員を含めて、推進協だより編集委員を募集したほうがよいのではないか。

（委員長）情報は共有したいと考えている。しかし、両方の編集委員になると負担をかけてしまうと思う。

後日でも結構だが、興味があれば事務局まで連絡をいただきたい。

今後の予定では、年 2 回ほど発行する予定である。

以 上